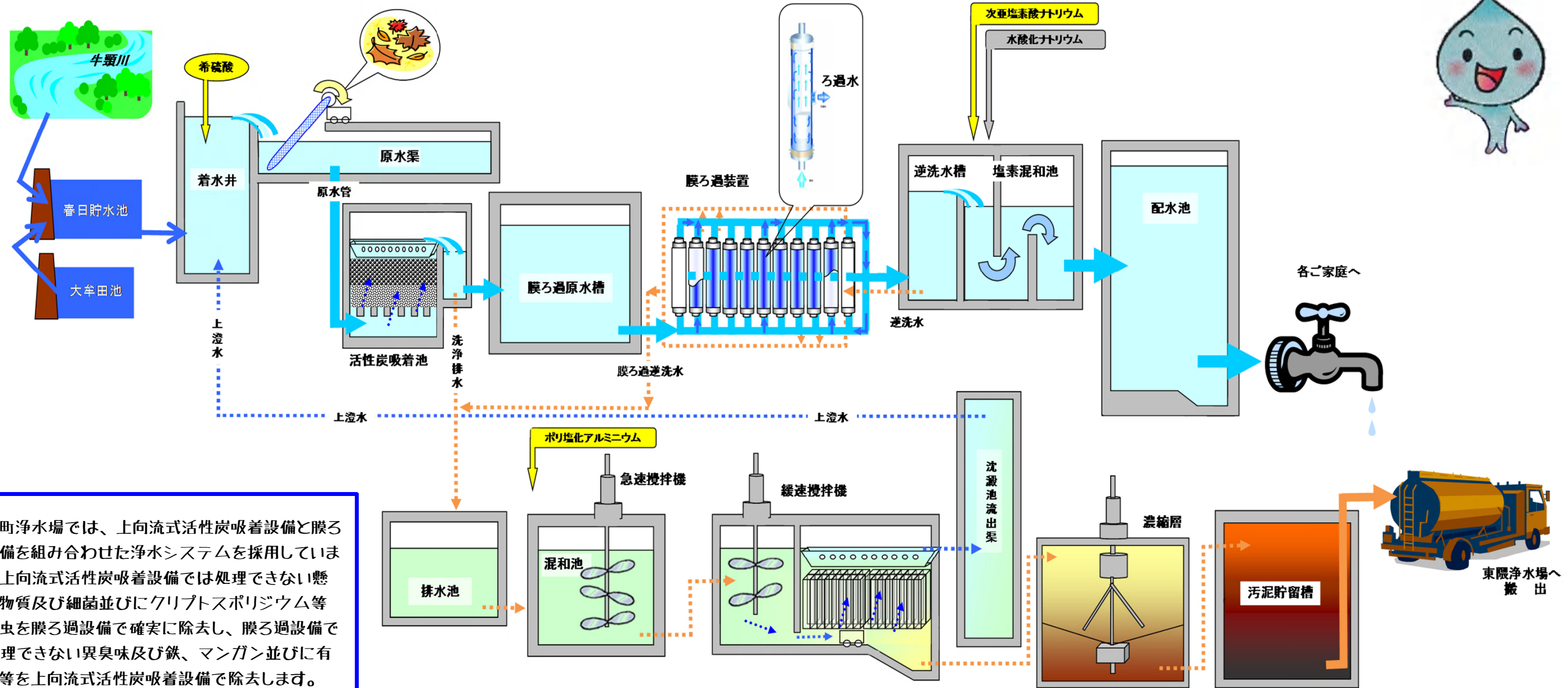


浄水処理の紹介②

— 膜ろ過 —

原町浄水場



原町浄水場では、上向流式活性炭吸着設備と膜ろ過設備を組み合わせた浄水システムを採用しています。上向流式活性炭吸着設備では処理できない懸濁性物質及び細菌並びにクリプトスポリジウム等の原虫を膜ろ過設備で確実に除去し、膜ろ過設備では処理できない異臭味及び鉄、マンガン並びに有機物等を上向流式活性炭吸着設備で除去します。互いの処理能力を補い合うことで効率的で安心、安全な浄水処理を行うことが可能です。



上向流式活性炭吸着設備とは

異臭味や色度などを粒状活性炭により吸着・除去するとともに、粒状活性炭に付着させた微生物（バクテリア）の特徴を活かし、鉄、マンガン及び有機物などを除去する生物接触ろ過を利用した設備です。

※生物接触ろ過とは
自然の川底の小石などに付着した微生物が汚濁物質を取り込み分解する作用を、人工の装置内で再現することです。



膜ろ過設備とは

微細孔のある膜に圧力をかけ、その膜を通して水中の不純物を除去する固液分離技術で、懸濁性物質、細菌はもとより、限外ろ過膜では、ウイルスやクリプトスポリジウム等の原虫も確実に除去します。

※限外ろ過膜とは
孔径が概ね0.01~0.001μmのろ過膜のことです。
(1μmは1mmの1000分の1です。)